【ウェブデザイン実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　ウェブサイト制作に必要なHTMLを修得し、ウェブページのスタイルを決めるCSSを用いて基礎的なウェブサイトの開発、運営を行うことができる。 | 1-1ウェブデザインの理解 | ①ウェブページの作成方法、ウェブサイト構築に関するインターネットの利用技術などについて理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②ウェブデザイン実務を理解し、マークアップ言語「HTML」やウェブページのスタイルを決める「CSS」を用いて、レイアウトを設定することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2基礎的な情報実務能力 | ③パソコンやインターネットの活用方法などを理解し、ウェブコンテンツ作成ソフトウェアを使って素材（静止画像・動画・グラフィックス・音声）を作成してウェブデザインに活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ④ビジネスの現場における、情報の検索、加工、分析、資料作成、情報発信などの一連の情報実務を実践でき、ウェブデザインに活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3ウェブデザイン実務力 | ⑤ウェブサイト運営、およびウェブサイト構築における注意事項、著作権問題、セキュリティなどの重要なポイントを具体的な事例をもとに説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　ウェブサイト作成ツールを活用して、ウェブコンテンツやサイトを制作し、ウェブデザインのそれぞれのステップにおいて、基礎分野で学んだ能力を活用してウェブコンテンツとサイトを作成できる。 | 2-1ウェブデザイン実務スキル | ⑥画像編集ソフトを使って静止画像などを編集でき、グラフィックデザインソフトを使ってロゴやイラストなどを加工できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑦ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使った様々なウェブコンテンツを制作して、ウェブページを作成できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2ウェブデザイン能力の活用 | ⑧コンテンツマネジメントシステム（CMS）などを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、制作課題に応じたウェブページを編集できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨ユーザーからニーズを的確に把握し、ウェブサイトを制作する方法について学んだスキルを発揮して、企画通りのウェブサイトを制作できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3ウェブデザイン実務実践力 | ⑩ウェブデザインの専門知識、スキルを、ビジネス現場で活用できる実践的な応用能力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑪ウェブサイトを作成するプロセスを資料にまとめ効果的に情報発信できるとともに、ウェブサイトを作成するプロセスについての実施マニュアルを作成でき、詳しく説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　ウェブデザインに関する幅広い課題に取り組む総合的な演習や事例研究を通して、専門的な知識やスキルを総合的に活かす実践力を備え、スペシャリストとして働くための学びを継続する重要性を理解している。 | 3-1ウェブデザイン実務の総合的実践力 | ⑫ウェブデザインについて学んできたことの集大成として、実践の場面で、身につけてきた専門知識とスキルを発揮し、ユーザーのニーズを把握して、具体的なウェブサイトの作品制作を行うことができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬ウェブサイトの作品制作、ウェブコンテンツ制作の課題を他者にわかりやすく説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2実践活動における学びの継続力 | ⑭ウェブサイトの評価基準(ユーザビリティ、アクセスビリティなど)について説明でき、効果的なウェブサイトを作成することができ、さらに学びを深める重要性を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮ウェブデザインの学修成果を実践活動の場で活用できる能力を身につけ、その結果を振り返って学びを継続できる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |